

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	公益財団法人富山県新世紀産業機構			代表者名	中谷 仁
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	イノベーション推進センター	連絡先電話番号	076-444-5608
担当者役職	コーディネーター	担当者氏名	富成敬之	連絡先E-mail	
住所	930-0866 富山県富山市高田529番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名	富山県	連絡先部署	地域産業振興室経営支援課		
担当者氏名	島田 果歩	連絡先電話番号	076-444-3249	連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	デジタル化指導者フォローアップ研修事業		
概要	富山県内の企業に対するデータ活用支援を行うIT専門家チームを対象に、データ活用の重要性をより明確に伝え、その必要性やメリットへの理解を深めるための気運を醸成する。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援）				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年2月20日	講演(実地)	13時30分	17時00分	
			活動時間（分）	210	
2-2. 派遣場所	会場名	富山県新世紀産業機構		最寄駅	富山駅
	所在地	富山市高田529		最寄駅からの交通手段	

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	平本 健二
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	このたび、富山県のデジタル化指導者向けに「企業経営におけるデータの重要性」をテーマとした講演を実施いただきました。データマネジメントやガバナンス、マチュリティなどの基盤整備から、データ品質や成長パターンにも言及し、幅広い視点でデータ活用の要点を解説いただきました。世界における先端事例も含め、指導者の知識や意識を高める大変有意義な機会となりました。また、後半のワークショップにおいても、参加者とのディスカッションにも参加いただき、よい対話ができました。受講したデジタル化指導者からも、「参加してよかった」とのコメントを多数いただいております。デジタル化指導者にとって、これから依頼元企業へのデータ活用の提案に、役に立つことと考えております。
アドバイザーへの要望事項	この度は、ありがとうございました。また、お話を聴ける機会ができればと思います。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	14人
	属性	企業・団体	その他(学生など)
	自治体職員	住民	
	人数	2	12

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	「デジタル化指導者」制度は、富山県が掲げた県内企業における付加価値額を向上する目標に対する施策として開始された指導者の派遣制度です。近年の相談には、DX・データ活用にニーズが高いが、デジタル化指導者の中には、データ活用を志向した人材が十分に育っていない。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	デジタル化指導者およびその所属企業の方に、企業経営におけるデータ活用の重要性を理解してもらうこと。その結果として、デジタル化指導者たちが、デジタルデータ活用に必要な知識・技術を習得し、その知識・技術を県内企業のデジタル化指導に活かせるようになること。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	「企業経営におけるデータの重要性」として、以下の点をご教授いただいた。 <ul style="list-style-type: none"> 世界でデータの使われ方、AI・Edge Cloud・データスペース・SDXについて データを扱う手法、マネジメント・ガバナンス・マチュリティなどデータを運用する仕組み データを活用して成長する企業パターン デジタル基盤とその活かし方におけるデータ品質やルール…など また、ワークショップでは、参加者との対話にもご参加いただきました。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今回のイベントは、デジタル化指導者の研修であり、単体で具体的な成果が出るものではないが、講演終了後のワークショップでは、活発に意見交換があった。特にデータを経営に活用する技量については、「ベンダー側での力不足が、企業のデジタル化の進展を妨げており、データを活かせる人材が必要」として、今後、デジタル化指導者を含めた富山県内でのデータ活用指導ができるよう、努めるといった意見があった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 現時点では、具体的な成果はないが、次年度以降のデジタル化指導者の活動のなかで、今回の成果を発揮していくことが期待される。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回のイベントで、デジタル化指導者のデータ活用に対する理解は深まったものと考えている。今後、デジタル化指導者の活動のなかで、データ活用への取り組みを強化していく（当初の計画どおり）。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。（EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。） アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は、時間の都合もあり、アンケートを取ることができませんでした。参加者には後日改めてアンケートを行います。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 デジタル化指導者の事業は、来年度以降も継続していく。活動の中で、データ活用に対する支援を拡大していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	富山県における民間企業におけるデジタル活用の促進。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

